

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	在住外国人支援				所管	区民部	
						区民課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	235	計画事業名	在住外国人支援		
	長期総合計画体系	[基本目標] IV-1. パートナーシップの促進					事業の開始・終了年度
		[小 柱] (1)多様な主体が尊重しあえる地域づくり					[事業開始] 昭和 6 1 年度
		[施 策] ③内外の都市・地域、在住外国人との交流					[終了予定] - 年度
	根拠法令等	その他	[法令等名]	台東区「外国人のための日本語教室」事業運営実施要綱			
	事業対象	在住外国人(外国人とのコミュニケーションのための日本語講座 直接の対象:区民全般 最終的な対象:在住外国人)					
	事業目的	地域の国際化に伴い、区内在住外国人に対して、日本語教室や情報紙の発行により、外国人への支援をすることでより暮らしやすい地域を形成する。					
	事業内容	①外国人のための日本語教室(前期21日・中期21日・後期21日 各年1回) ②外国人とコミュニケーションのための日本語講座(入門編11日・実践編7日 各年1回) ③多言語情報紙(日本語900部、英語900部、中国語1250部、韓国語750部 年2回発行) ④外国人のための生活便利帳(英語2500部、中国語2500部、韓国語2000部 3年に1度発行、年1回改訂)					
	委託の有無	一部委託	委託内容	・外国人とのコミュニケーションのための日本語講座実施委託			
	補助金の有無	なし		・多言語情報紙原稿翻訳、版下作成委託 ・外国人のための生活便利帳翻訳、版下作成委託			
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度
	活動指標	外国人とのコミュニケーション日本語講座	日	18	18	18	18
		多言語情報紙発行回数	回	4	-	-	2
	成果指標	外国人とのコミュニケーション日本語講座受講者数	人	60	39	43	36
		多言語情報紙配布部数	部	18,000	-	-	7,500
	決算額	(単位:千円)			(2,482)	(2,766)	2,314
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			(8,522)	(8,501)	5,614
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			(2,216)	(2,452)	2,021
		(単位:千円) その他のコスト(扶助費・補助費など)			(266)	(314)	293
		総経費			(11,004)	(11,267)	7,928
財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			(122)	(138)	120	
	(単位:千円) その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			(490)	(773)	501	
	一般財源(区負担額)			(10,392)	(10,356)	7,307	
前回評価から改善した事項	多言語での行政情報の提供のため、27年度10月より、多言語情報紙を発行している。28年度は年4回、15,000部発行予定である。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	4	本区の在住外国人は増加傾向にあり、地域での生活に溶け込んでもらうためにも在住外国人支援の必要性は高い。外国人のための日本語教室は、毎回定員を超えた申し込みがあり、ニーズは高まっている。				
	効率性	4	日本語教室は講師にボランティアを活用しており、多言語情報紙の印刷は職員が行っている点などから、経費を抑えながら効率的に事業を運営している。				
	手段の適切性	3	コミュニケーション日本語講座は、実施回数が18回(入門編11回・実践編8回)と受講日が多いことも受講者数が少ない要因とも考えられるため、内容や回数について検討していく。				
目的達成度	3	日本語教室は申込者が増加するなど達成度は高いが、コミュニケーション日本語講座は受講者が少ない状況である。今後は事業内容の改善や充実、交流事業等を通して在住外国人支援を行っていく。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	改善	
在住外国人人口は増加しており、日本語教室やコミュニケーション日本語講座の開催、情報紙の発行など事業の必要性は高い。今後は、地域との交流促進事業の実施などコミュニケーション意識を醸成することで、より暮らしやすい地域づくりに取り組んでいく。					拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		